

遠別地域

指定基準	講評
<p>イ．当該地域マリンビジョンが、地域のポテンシャルを活かすとともに個性ある計画となっていること。</p>	<p>遠別地域は「海と大地の恵みが奏でる元気な食のクリーン産地」をキャッチフレーズとして、町内産業（農林水商）が一体となってクリーン産地として水産物のみならず農産物も併せて地域産品の統一ロゴマークやキャッチフレーズを作る等の取り組みが盛り込まれている。コンパクトなエリアの中でクリーン産品という共通の目標のもと森・川・海を一体として捉えたビジョンとなっており、地域として価値あるビジョンとなっている。</p>
<p>ロ．当該地域マリンビジョンが、独創性、先駆性、広域性のいずれかが認められるとともに、他地域モデルとして見込み、北海道マリンビジョン21の具現化に資する計画となっていること。</p>	<p>ビジョンは地域にとって有益なものとなっているものの、現段階において他地域を先導するような顕著なモデル性は見受けられない。</p> <p>流域全体で取り組む環境保全を基礎として、水産業と農業が連携協働してクリーン産品の位置づけが確立する取り組みがより具体的、戦略的になると将来的に独創的なビジョンとなる可能性があるため、地域の実態を踏まえた取り組みにより、真に地域の活性化に資するビジョンとなることを期待したい。</p>
<p>ハ．当該地域マリンビジョンが、地域協議会の十分な議論・調整を踏まえた計画であること。また、地域マリンビジョン策定後であっても、適宜地域協議会において当該地域マリンビジョンの円滑な推進を図る計画となっていること。</p>	<p>多様な協議会参加者による十分な議論がなされた計画であると評価できる。町の広報紙に地域マリンビジョンの策定動向等を掲載して、地域の合意形成に工夫がなされているなど、ビジョンを推進していくための環境醸成もなされている。</p>
<p>ニ．当該地域マリンビジョンに位置付けられている拠点漁港が、北海道マリンビジョン21の趣旨に鑑み、計画において拠点漁港のいずれかに該当すること。</p>	<p>拠点漁港の遠別漁港はモデル性が確保されている。今後予定される衛生管理型漁港整備については、地域マリンビジョンの実現に直接関わるものであり、町内産業一体となったビジョンの着実な取り組みを推進することによって将来的に衛生管理型漁港の効果が十分に発揮されることが期待される。また、漁協直営の水産加工業を効果的に活用し、衛生管理の取り組みに一層の幅を持たせることも期待したい。</p>
<p>ホ．地域マリンビジョンの実現に向けた取り組み内容が各実行主体ごとに明確になっているほか、それらの取り組みが地域において継続的に行われる等、地域マリンビジョン及び取組主体の熟度が認められること。</p>	<p>既に産業連携会議が開催されているものの、クリーン産品形成の具体的な取組内容の議論はこれからであり、具体的かつ実効的な議論が継続的になされていくことを期待したい。また、遠別地域は北海道全体を縮小したような産業構造を持つコンパクトな地域であり、産業横断の組織間の意思疎通が図りやすい地域であることから、産業連携会議をきっかけとして、個々の取り組みに関連性を持たせ、実施主体が相互に連携して継続的な取り組みを重ねていくことにより、着実な効果が期待される。</p>